

鷹取山生物群集保護林



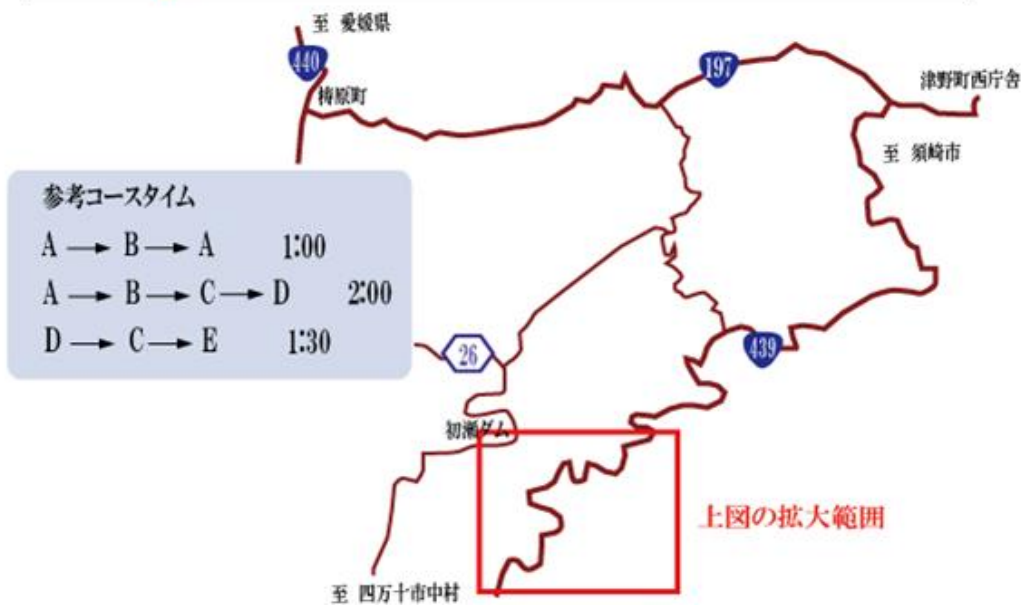
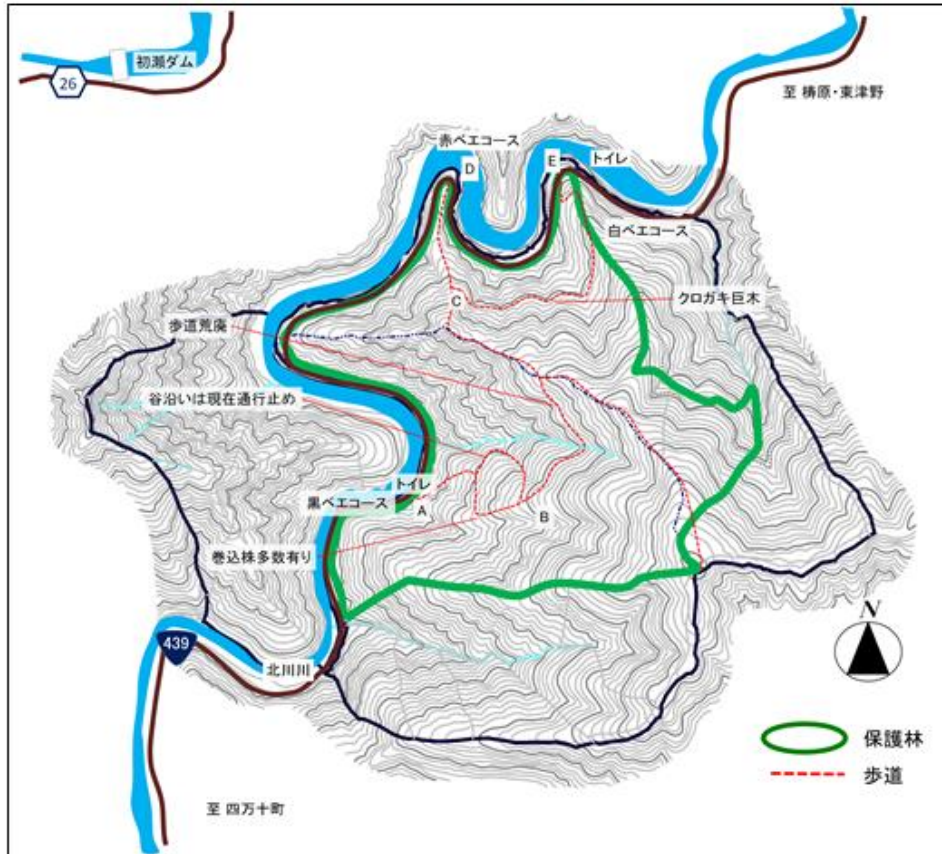
鷹取山はモミを主体にツガ、ヒノキ等の針葉樹に混じり、アカガシやスダジイ等の広葉樹も混成した原生林が残っています。

豊かな森のため、秋には様々なキノコを見ることができ、森林性の甲虫であるキクイムシが11種確認されています。(キクイムシについての詳細は森林総合研究報告をご覧ください。)

保護林の横には四万十川の支流の1つ北川川が流れ、付近には、我が国の野鳥の中で最も美しいと言われている「ヤイロチョウ」が生息しています。

【保護林マップ】

鷹取山生物群集保護林マップ



イラストマップ



【上空から見た保護林】

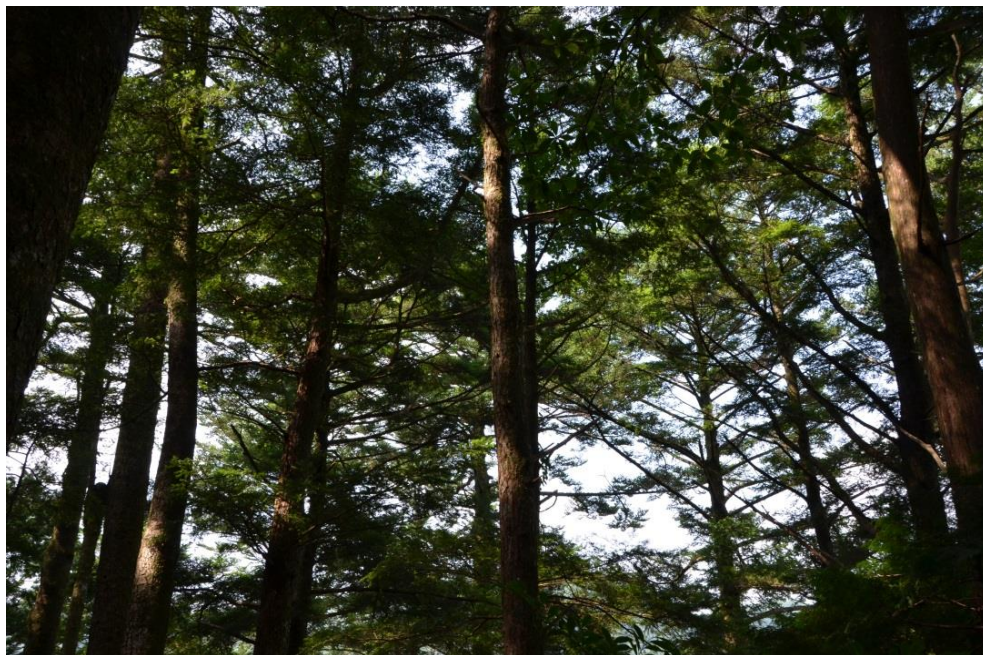


(2012年3月27日撮影)

【林内の植物】

林内には主にモミとツガが生育していますが、ホオノキやクロガキ、アカガシ、スダジイ、ケヤキなどの広葉樹も生育しています。

また、林床にはミヤマシキミやチャボホトトギス、ヤマゴボウ、ミヤマウズラなどを見ることができます。



▲モミとツガが優先する箇所



▲クロガキ巨木の横を行く



▲チャボホトトギス

9月ごろ花を咲かせます。

モミの特徴は梶ヶ谷山保護林を、ツガの特徴は横荒山保護林をご覧ください。